

葛飾区自治町会

# 地域防災マニュアル

地震編・水害編



## 地域防災マニュアルとは

東日本大震災や熊本地震では、地域住民自らによる「自助」、地域コミュニティによる「共助」が、避難行動、避難誘導、避難所運営等において重要な役割を果たしました。

大規模・広域災害では、行政自体が被災することや、同時多発的に被害が発生することから、災害発生直後の公助には限界があります。このため、**公的な救助が本格化するまでは、自分たちで助け合っていかなければなりません。**

**自助とは、「自分の命は自分で守る」**ことです。先ず自分を守ることで、家族や隣人を助けに行くことができます。**自助ができてこそ、共助は可能**となり、そして、**共助の活動の単位となるのが自治町会**です。

また、災害時に必要な物資を行政や自治町会で備蓄するにも予算や維持管理の面で限界があり、この点においても各個人の家で備蓄しておく「自助」は大切です。

災害時に自助、共助が機能するためには、**日頃からの準備や備えが不可欠**であり、そのためにも、**地震時、水害時に何が起こるのかを知っておく**必要があります。

本書は、**自治町会の役員の方々を読者**とし、自分たちのまちに災害が起きた場合、自治町会として何ができるのか、そのためにどのような準備や備えをしておくべきかを考えるためのマニュアルとして作成しています。

また、地震と水害では、避難の考え方が異なることから、**地震編、水害編の2編で構成**しています。

### 共助の力～阪神・淡路大震災の教訓

平成7年の阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊などによる生き埋めや閉じ込められた人のうち、消防などの公的機関の救助（公助）によるものはわずか2%で、**98%が自力または家族や隣人などの地域住民によって救出**されているという調査結果\*があります。

\*（社）日本火災学会：「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」



住民による崩壊家屋からの救出

出典：神戸新聞

# 目次

## 地震編

地震が起こるとどうなるか	P 1
地震発生時の自治町会の役割	P 3
平常時からの地震への備え	P 9
1 災害時の活動の役割分担を決めましょう	P 10
2 地域特性を把握しましょう	P 11
3 地域特性を踏まえた訓練などを行いましょ	P 15
4 自治町会会員に自助を呼びかけましょ	P 23
資料1 自治町会の備え（共助）リスト	P 25
資料2 町会員各自の備え（自助）リスト	P 26

## 水害編

水害が起きると…	P 27
備えるために"まち"を知る	P 29
大規模水害に備える	P 30
水害発生時の自治町会の役割	P 33
河川ごとの地域危険度 ー西部地域ー	P 35
河川ごとの地域危険度 ー東部地域ー	P 37
河川ごとの地域危険度 ー南部地域ー	P 39
今までに経験したことがないような大規模な水害が発生したら	P 41